

公益財団法人 水・地域イノベーション財団
第13回評議員会（定時）議事録

日 時 2026年6月22日（月） 14:00～15:40
場 所 財団事務所会議室 評議員会運営規則第11条に基づきウェブ会議「zoom」併用
出席者 評議員 石井 晴夫、安倍（奥田）早希子、北村 潤一郎
西原 一裕、森田 弘昭（zoom）
理事 野村 喜一（理事長）、櫻井 克信（常務理事）
監事 伊藤 信夫、小澄 了子
顧問公認会計士 居関 剛一
事務局 三浦 輝久、工藤 麻弥子、和田かおる
欠席者 評議員 森 由美子

議 題

I. 報告事項

1. 第1号議案 2025年5月26日期事業報告

II. 決議事項

1. 第2号議案 2025年5月26日期決算の件

III. 報告事項

1. 第3号議案 2025年度事業計画及び収支予算変更の報告
2. 第4号議案 2026年3月31日期事業報告

IV. 決議事項

1. 第5号議案 2026年3月31日期決算の件
2. 第6号議案 理事及び監事の任期満了に伴う改選の件

V. 報告事項

1. 第7号議案 2026年度研究・活動助成事業採択団体決定の報告
2. 第8号議案 2026年度体験活動団体助成事業実施の報告
3. 第9号議案 2026年度水・地域支援事業応募受付状況の報告
4. 第10号議案 助成・支援選考委員会及び各部会改選の報告
5. 第11号議案 その他

□ 議事の経過及びその結果：

評議員会の開催に先立ち、各評議員、理事長、常務理事、各監事のオンライン接続状況を確認し、音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に、意見表明が互いにできることが確認された。

VI. 議長選出

第9回評議員会（臨時）で、定款第19条に基づいて、現在の評議員の任期満了まで議長に選出された石井評議員が議長となった。

VII. 評議員出欠の確認

評議員6名のうち5名が出席し、評議員会運営規則第8条（定足数）で定める評議員の過半数が出席していることが確認された。

VIII. 議事録署名人選任

定款第23条第2項の規定に基づき、石井議長（評議員）、北村評議員、西原評議員が、議事録署名人として選任された。

IX. 報告事項

1. 第1号議案 2025年5月26日事業報告

表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告がなされた。
特段意見等はなし。

X. 決議事項

1. 第2号議案 2025年5月26日決算の件

表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告があり、伊藤監事より監査報告書の説明がなされ、「事業報告等」「理事長の執行状況」「計算書類及びその附属明細書並びに財産目録」の監査の結果、特段問題ないことが報告された。
審議の結果、出席した評議員全員の一致により原案どおり承認された。

XI. 報告事項

1. 第3号議案 2025年度事業計画及び収支予算変更の報告

表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告がなされた。
特段意見等はなし。

2. 第4号議案 2026年3月31日事業報告

表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告がなされた。
特段意見等はなし。

XII. 決議事項

1. 第5号議案 2026年3月31日決算の件

表記について配布資料に基づき事務局三浦より説明があり、伊藤監事より監査報告書の説明がなされ、「事業報告等」「理事長の執行状況」「計算書類及びその附属明細書並びに財産目録」の監査の結果、特段問題ないことが報告された。

審議の結果、出席した評議員全員の一致により原案どおり承認された。

2. 第6号議案 理事及び監事の任期満了に伴う改選の件

事務局三浦より、配布資料に基づき理事及び監事の任期満了に伴う改選について理事会から推薦された各候補者の説明がなされた。また、理事 吉岡律司氏及び監事 伊藤信夫氏は、本人の申し出により任期満了で退任する旨の報告があった。

理事の任期満了に伴う改選

本定時評議員会の終結の時をもって任期満了となる各理事の選任について、定款第20条第3項の規定に基づき、理事会から推薦された候補者ごとに決議が行われた。

理事	磯部	光徳	(再任)
理事	酒井	彰	(再任)
理事	櫻井	克信	(再任)
理事	佐藤	裕弥	(再任)
理事	野村	宜彦	(新任)
理事	野村	喜一	(再任)
理事	百武	ひろ子	(新任)

候補者ごとに決議を行った結果、出席した評議員全員の一致により理事候補者全員の選任が承認された。

監事の任期満了に伴う改選

本定時評議員会の終結の時をもって任期満了となる各監事の選任について、定款第20条第3項の規定に基づき、理事会から推薦された候補者ごとに決議が行われた。

監事	小澄	了子	(再任)
監事	服部	博光	(新任)

候補者ごとに決議を行った結果、出席した評議員全員の一致により監事候補者全員の選任が承認された。

XIII. 報告事項

1. 第7号議案 2026年度研究・活動助成事業採択団体決定の報告
表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告がなされた。
特段意見等はなし。

2. 第8号議案 2026年度体験活動団体助成事業実施の報告
表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告がなされた。
特段意見等はなし。
3. 第9号議案 2026年度水・地域支援事業応募受付状況の報告
表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告がなされた。
特段意見等はなし。
4. 第10号議案 助成・支援選考委員会及び各部会改選の報告
表記について配布資料に基づき事務局三浦より報告がなされた。
特段意見等はなし。
5. 第11号議案 その他
その他議案審議はなかった。

XIV. 意見交換

審議終了後に、財団の各事業運営について、意見交換がなされた。

(1) 資金の使い方について

- 奥田評議員：財団の資金の使い方として、助成事業・支援事業・水文化継承事業のうち、どれをより増やした方がよいといったことはあるのか。
- 居関顧問公認会計士：法令上特に決まりはないので、どうしていくのかという方針を役員のみなさんで検討してほしい。
- 奥田評議員：理事会の方で、方針の案が決まっていれば教えてほしい。
- 櫻井常務理事：助成事業・支援事業については、採択の件数を増やし、支給額の上限を上げた。支給額の引き上げには、活動内容を充実させてほしいのと物価上昇の動きに対応するという意味がある。いいものがあれば積極的に採択したいが、質を下げるわけにはいけないので、現在のような状況になっている。まずは、採択の件数を増やしたい。
また、成果発表会について、今まで発表者はweb参加としていたが、今年は会場を借りて行うことにしている。遠方の人にも旅費を支給して会場に来ていただく。現地参加を中心にして、交流の場を作っていきたい。もう一つ大事なポイントとして、今年度中に執行体制を変え、陣容を大きくしていきたい。

(2) 応募者を増やすことについて

- 奥田評議員：助成事業の応募者の母数を増やすことが大事だと思う。もう少し母数を増やすようなしくみを考えられるとよい。

また、アンケートを見ると、参加表明をしたのに書類を提出する時点で脱落している人が多いのが気になる。財団の助成や支援の本質が伝わっていないような気がした。より脱落者を減らすようなしくみがあるとういのではないか。

○事務局三浦：PR TIMES を使うのは、一つの方法と考えている。

●奥田評議員：PR TIMES はリリースが記者に届くと共に、web で検索した人が多いことを考えると母数増加への効果もある。

●櫻井常務理事：母数の増加については審査体制にも関わる。あまり増えると部会を2つにするなど審査体制を整える必要性も出てくる。

●北村評議員：水道事業者やそれに関わる地方自治体はお金がなくて困っている。そういう人達にお金を活用してもらうことは考えられないのか。たとえば、日水コンの営業ツールを活用して助成金制度を紹介するなどの方法で広げていけば、ネットワークもあるし世の中のニーズにも応えられる。

●櫻井常務理事：公共団体の本格的な活動になると、2,000 万～3,000 万円くらいかかる。

●西原評議員：上下水道事業体での事業は金額が大きい。

●櫻井常務理事：いただいたご意見を参考に視野を広げて考えていく。

XV. 新任の理事・監事及び顧問公認会計士の紹介

事務局三浦より新任の理事・監事の紹介が行われ、続けて、櫻井理事より居関顧問公認会計士の紹介があった。

以 上

この議事録は、定款第23条の規定に準拠し、作成した。

この議事録が正確であることを証するため、以下の通り記名押印をする。

2026年6月22日

議長 評議員 石井 晴夫



出席 評議員 北村 潤一郎



出席 評議員 西原 一裕



(議事録作成者)

